

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	MH	学部・学科	国際商
学 年	3	派遣国	イタリア
派遣大学	ベネチア大学		
期 間	2024 年 9 月 1 日～ 2025 年 7 月 1 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / <u>3 人部屋</u> / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房		冷蔵庫	◎
滞在費	約 (75,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(水上バス) で、約 (15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	40000 円	外食込み
学用品購入費	5000 円	教科書
交通費	4000 円	定期券
交際費	10000 円	
その他	5000 円	日用品、生活必需品

合計

64000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

島の外のメストレという場所（大きい学生寮やアパートがあり全体的に物価が安い島の近くの地域）では、学生が多くアジアンスーパーや遊べる場所などもあり便利ですが、殺人事件があったこともあります。夜に一人で出かけないのであれば交通の便もよく問題ないですが、夜、駅付近は危険です。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(11) ヶ月間	保険料	(114,380) 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	() ヶ月間	保険料	() 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町 (**ベネチア**)

私は島の中に滞在していました。島自体があまり大きくはないためどこに行くにしても歩いて 45 分以上かかることはなかったです。物価は島の外に比べると高く、住むのであればアパートの方が安く済み立地もよいところが多かったなと 1 年過ごして感じました。

島の中なので治安は良かったと思います。やはり観光地なのでピックポケットなどがありますが、夜一人で歩いても問題ありませんでした。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ベネチア大学	所在地	Sestiere Dorsoduro, 3246, 30123 Venezi
最寄空港	ベネチア・マルコポーロ空港	空港からの距離	13km
空港⇄大学	(水上バス、バス) *移動手段		
学生数	約 2 万人	留学生数	3 0 0 人以上
学部	経済、経営学部 言語、文化学部 科学技術学部 芸術、人文科学部 公共政策、社会変革学部 国際学、グローバル科学部 文化遺産保存、管理学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	経済、経営学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(1 0)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	経済学部 の授業	経済学部 の授業	イタリア語 の授業 経済学部 の授業		イタリア語 の授業
午後	日本語学部 の授業ボラン ティア	日本語学部 の授業ボラン ティア	イタリア語 の授業	イタリア語 の授業	

② (1 1)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			イタリア語 の授業 経済学部 の授業	経済学部 の授業	イタリア語 の授業 経済学部 の授業
午後		日本語学部 の授業ボラン ティア	経済学部 の授業 イタリア語 の授業	イタリア語 の授業	経済学部 の授業

3. 履修内容

科目	International economics and development studies		
履修期間	1 st term	単位数	6
授業内容／形態	国際経済学と開発学について学ぶ授業		
成績	28		
YCU 振替予定	科目	社会開発論・国際経済学	
	単位数	2・2	
	担当教員	楯晃次・田場弓子	

科目	Italian language for exchange students- module A- beginner A1		
履修期間	1st semester	単位数	6
授業内容／形態	A1 レベルのイタリア語とイタリアの文化や地理などについて学ぶ授業		
成績	28		
YCU 振替予定	科目	国際商学部留学科目	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	Innovation in sustainable food system		
履修期間	2nd term	単位数	6
授業内容／形態	持続可能なフードシステムのイノベーションについて学ぶ授業、対面		
成績	19		
YCU 振替予定	科目	国際商学部留学科目	
	単位数	2	
	担当教員	—	

科目	Human resource management		
履修期間	2 nd term	単位数	6
授業内容／形態	人的資源管理について学ぶ授業、対面		
成績	19		
YCU 振替予定	科目	人的資源管理論	
	単位数	2	
	担当教員	小泉大輔	

科目	Game theory		
履修期間	3 rd term	単位数	6
授業内容／形態	ゲーム理論について学ぶ授業、対面		
成績	20		
YCU 振替予定	科目	ゲーム理論	
	単位数	2	
	担当教員	中村祐太	

科目	Value creation and entrepreneurship		
履修期間	4 th term	単位数	6
授業内容／形態	アントレプレナーシップと価値創造について学ぶ実践的な授業、対面		
成績	21		
YCU 振替予定	科目	アントレプレナーシップ論	
	単位数	伊藤智明	
	担当教員		

科目	日本語学習支援インターンシップ		
履修期間	通年	単位数	3
授業内容／形態	日本語学部の授業にボランティアで参加、対面		
成績	—		
YCU 振替予定	科目	—	
	単位数	—	
	担当教員	—	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

人生初の海外でとても緊張していたうえ様々な災難が渡航前にあり幸先不安ではあったが、無事にすべて終了したと思う。

まず渡航前、家が見つからないという問題に直面した。希望していた寮があったのだが、ホームページに書いてあった募集開始日があまりにも遅く、ビザ申請のために早めに入居許可が欲しいと連絡したところ、もう予約が埋まっているといわれた。

そしてそのころには他の寮もほぼ埋まっており探すのに一苦労した。ビザの申請をしようにも住む家がないとどうしようもできないため、一度キャンセルが可能なホテルを1か月分ほど予約しその予約票をコピーして持って行ったことで大使館には対応してもらえた。無事ビザを受け取りいよいよイタリアへ渡航する直前、実家の福岡からのフライトで成田へ行く予定が大型の台風が直撃予定で、二日前に新幹線で関東まで行くことにするも台風の影響による大雨で関西までしか行けず、翌日も新幹線が動かず唯一1席だけ残っていた関西発成田着のフライトに何とか乗れ、2回の遅延があったのち無事に成田へ到着することが出来た。何事もハプニングはつきものなので前持った準備に加えあらかじめこういったハプニングを予測することも必要だったと痛感した。

留学先についてからは毎日が新しい発見ばかりで新鮮だった。何よりも文化などの違いに驚かされた。食文化、人とのかかわり方、考え方、言語など、今まで体験してきたものとは違い、困惑することもあったが、友人の支えもあって徐々に適応していくことが出来た。もちろん良いことばかりではなく、人種差別的な発言をされたりぶつかられたこともあった。しかし、それも含めてすべての出来事の文化的、歴史的背景を考えたりして日常から学ぶことは非常に有意義であったと思う。

学習面でももちろん学ぶことが多かった。この留学の目的である開発経済学の授業は非常に楽しく、没頭した。今までに深く考えてきたトピックであったため、かなり積極的に授業に参加していたが、周りの学生がすごく負けていられないなと感じた。かなり自分自身は勤勉な方であると自負していたが、周りの学生は何倍もすごく、学習に長い時間を費やし、自分の意見を持ち、質問して自ら学びを深めていた。私も彼らのようにならねばと感じ、次の講義からはより一層努力した。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今後は留学中に培った語学力や留学中に学んだ専門知識、習慣などを活かし今後の授業に役立てていくとともに、就職活動にも生かしていきたいと考えている。また、自分自身の成長にもつなげていきたい。

留学中に積極的に発言する雰囲気の中で授業に参加したことで身についた積極性を大事にし、今後横浜市立大学で受講する講義では自分なりに考えてみたり、分からないと感じたことについては質問したり自分で調べて掘り下げてみるなどし学びを深めていきたい。また、留学中に頻繁に為替レートを確認していたこともあり、世界情勢や為替に興味を持つようになったので、商社に就職をしたいと考えている。商社への就職は簡単ではないので留学中に何を学んだのか、なぜ商社に興味を持ったのかなどを改めて整理し、就職活動にも生かしていけるようにしたい。

そして、留学中に学んだイタリア語をこれからも学び続けていきたい。国際商学部は第二外国語を学習する必要があるため今まで英語以外の外国語に触れたことがなかったが、言語体系が日本語とも英語とも異なるイタリア語を学ぶことは今後ほかの言語を学ぶにあたってアドバンテージであるし、三か国語以上話せること自体強みになると思った。そのため今後も少しずつイタリア語の学習を続けていきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

とにかく準備をしっかりしておくことを心がけることが最も大切だと思います。どんな場面においても最悪の事態を予測しておくことで、精神的にも物理的にも負担が少なくすみます。私は実際準備の詰めが甘く、かなり留学前に苦労しました。留学前、留学中にはすべきことが多く、常に今起きていることに対処することで精一杯になりやすいと思います。そんな時に不測の事態が起きるとどうしたら良いのかが分からなくなります。そう言った事態になるのを避けるためにも、安心して留学生活を送るためにも準備を怠らないようにすることをお勧めします。

また帰国後の予定をしっかりと確認しておくことも重要です。おそらく交換留学に行く方は学部2年生以上で、大学院進学を考えない限りは留学中に就職活動のことを考えることになると思います。特に3年生で留学に行き、帰国後半年で卒業する予定の場合は特にすることが多いと思います。留学中にエントリーシート作成、オンラインで面接、場合によっては最終面接のために一時帰国など、就職活動のことだけでも考えることが多いことに加え、卒業するにはゼミの単位を取得する必要があるため留学中にゼミの授業をオンラインで受講、卒論の作成、帰国後のゼミの授業の同時履修申請など、大学の授業についても気にかける必要があります。大学からの連絡を見逃さないようにし、自分であらかじめ配られたスケジュールを把握するよう心掛けることをお勧めします。